

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	相談援助の基盤と専門職A (Professional basis of social work pra	授業コード	E042001
担当教員名	鍋田 耕作		
配当学年	2	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	人間力の育成に必要な科目ですので、必ず受講して下さい。担任制の授業です。		
受講心得	聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座6 『相談援助の基盤と専門職』中央法規出版		
参考文献及び指定図書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座6 『相談援助の基盤と専門職』中央法規出版		
関連科目	社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会保障論など		

授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉士の役割と意義について理解する。 ②精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ③相談援助の概念と範囲について理解する。 ④相談援助の理念について理解する。
授業の概要	社会福祉士に必要な知識・技術の習得を目指すために前提となる専門職としての「価値」について、歴史的な背景などをもとに考察していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：社会福祉の専門職とは？ 社会福祉分野における専門職の役割と実際、必要性・ニーズについて理解を深めていきます。	
第2週：社会福祉士の役割と意義1-① 社会福祉士及び介護福祉士法の成り立ちについて、社会の変容等を踏まえながら、理解を深めていきます。	配布資料
第3週：社会福祉士の役割と意義1-② 社会福祉士及び介護福祉士法における社会福祉士の定義、役割、責任、義務等について理解を深めていきます。	配布資料
第4週：社会福祉士の役割と意義2-① 社会福祉士及び介護福祉士法の改正と専門職養成の目的について、社会的背景を踏まえながら理解を深めていきます。	配布資料
第5週：社会福祉士の役割と意義2-② 社会福祉士に求められる専門性について理解するとともに、精神保健福祉士の役割と意義、連携等についても理解を深めていきます。	配布資料
第6週：現代社会と地域生活1 少子高齢化社会の現状と課題について理解を深めていきます。	配布資料
第7週：現代社会と地域生活2-① 地域社会について「生活」という視点から、現状と課題について理解を深めていきます。	配布資料
第8週：現代社会と地域生活2-② 自らが生活の主体となって自分らしい生活・人生を送るために、ソーシャルワーカーに求められる役割とはどのようなものなのかについて、権利保障の観点から理解を深めていきます。	配布資料
第9週：相談援助の概念と範囲① ソーシャルワークの概念について、国際ソーシャルワーカー連盟等の定義を踏まえながら、理解を深めていきます。	配布資料
第10週：相談援助の概念と範囲②	

ソーシャルワークの定義および範囲について、具体的な事例を参考に理解を深めていきます。		配布資料
第11週：ソーシャルワークの構成要素 ソーシャルワークを構成する要素(クライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、ソーシャルワーク実践の根拠、社会資源等)について理解を深めていきます。		配布資料
第12週：ソーシャルワークの形成過程 ソーシャルワークの形成過程について、17世紀前後から19世紀にかけての救済活動等を踏まえながら、理解を深めていきます。		配布資料
第13週：ソーシャルワークの基礎確立期① ケースワークの確立と発展について、リッチモンドの貢献からフロイト系の診断主義、ランクの機能主義、さらには世界恐慌におけるニューディール政策等を踏まえて理解していきます。		配布資料
第14週：ソーシャルワークの基礎確立期② グループワーク、コミュニティ・オーガニゼーションの確立と発展について理解を深めていきます。		配布資料
第15週：ソーシャルワークの発展、統合、批判、再編期 基礎確立期を踏まえ、ジェネラリスト・ソーシャルワークの確立までの背景と変化について理解を深めていきます。		配布資料
第16週：期末試験 論述式(90分)の試験を実施します。 ※出題方法等に変更の場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。		配布資料
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	①社会福祉士の役割と意義②精神保健福祉士の役割と意義③相談援助の概念と範囲④相談援助の理念について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉分野における現状と課題等について説明することができる。
【思考・判断・創造】	社会福祉分野における現状と課題等について考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	80点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	